

平成 25 年度 “まちづくりびと” ステップアップ講座

# “まちづくりの進め方” を学ぶ

開講日：平成 26 年 3 月 29 日（土）

場 所：名古屋都市センター 14 階 第 2 会議室

時 間：13 時～17 時

対 象：名古屋都市センターの地域の“まちづくりびと”養成講座を修了した方

受講者：14 名



春の陽気の感じられる 3 月下旬、まちづくりの専門家としてご活躍中の 株式会社エルイー創造研究所 所長の川本直義さんをお迎えし、平成 25 年度 “まちづくりびと” ステップアップ講座を開催しました。

## 講師紹介



かわもと なおよし  
川本 直義 さん

株式会社エルイー創造研究所 取締役所長  
博士（環境学）・一級建築士  
名古屋芸術大学非常勤講師  
NPO 法人世界劇場会議名古屋 理事・事務局長  
NPO 法人揚輝荘の会 会員 など

● 「やまのて音楽祭」（千種区）、「名東区まちづくり応援団」（名東区）、「瑞穂うるおいまちづくり会」（瑞穂区）、「ヤダ川発見隊」（東区）、「和みの散歩道の会」（千種区）などでまちづくりをコーディネート。

● 「市民吹奏楽団の練習場と開かれた利便供与の枠組みに関する研究」博士論文（名古屋大学 2010） 発表

## はじめに・都市センターからの挨拶

はじめに、名古屋都市センターの調査課長より挨拶がありました。

皆さんこんにちは！

今日は、25年度の地域の“まちづくりびと”養成講座を受講された方、また、それ以前の講座を受講された方に集まっています。

是非“まちづくりの進め方”について、学んでいただけたらと企画しました。

第1部は、名古屋市のみちづくり企画課が作成した「地域まちづくり手引書」を使って、まちづくりのプロセス（進め方）の講義を行い、第2部は、ディスカッションをしながら合意形成の方法を探ります。



## 第1部 講義「まちづくりの進め方の解説」

第1部は、講師の川本さんより、名古屋市住宅都市局まちづくり企画課が作成した「地域まちづくり手引書～まちに飛び出せ！N子さん～」を活用し、まちづくりの進め方について、既に実践している地域の例を交えて、解説がありました。



### 「まちづくりの進め方」

Step1：まちづくりの発意～組織づくり

Lesson1 組織づくりのポイント

組織をつくるメリット、組織づくりのポイント、持続させるポイント

Step2：まちを知る～まち歩き

Lesson2 まちの課題を見つけるテクニック

課題を見つけるための方法、まち歩きのポイント

Step3：まちづくり構想の案づくり＜骨子の作成＞

Lesson3 意見の発案、集約方法

意見を出す、意見をまとめる、大人数の意見を把握

Step4：まちづくり構想の案づくり＜骨子のビジュアル化＞

Step5：まちづくり構想の合意形成

Lesson4 会議の場での合意形成のコツ

意見交換の前提条件、意見交換のテクニック

Step6：まちづくり行動計画づくり

Lesson5 「まちづくり構想」づくりのポイント

必要性、作成におけるポイント、行動計画づくり

Step7：まちづくりの実践

Step8：まちづくりの進行管理



**One Point**

**Advice**

○まちづくりで大切なのは、仲間づくり。同じ思いを持っている人はきっといるはず。まずは声掛けしてみよう！

○組織を立ち上げるには、同じ関心を持つ人を集め、目標を共有する。規約などのルールを決めておくと体制がしっかりする。

○同じような活動を行っている他の地域に視察に行くのは有効な手段。課題解決のヒントが得られるかも。

## 第2部 ディスカッション「合意形成の方法を探る」

第2部は、講座の受講者によるディスカッションです。想定した地域課題に対して、賛否に分かれて意見を戦わせ、合意形成の方法を探ります。

まずは、顔と名前がわかりやすいよう、机を口の字型に並べ替え、名札をつくりました。

次に、想定した地域課題に対して、「賛成派」と「反対派」の役になって、それぞれの立場で意見を出し合いました。



### 名札の効果

A3サイズの内紙とクリップで簡単に作れる名札。

縦に置くことで、参加者同士が見やすいという工夫も！

まちづくり活動などの会議や打合せの場にも活かせるアイデアです。

講師がファシリテーター役となり、口の字型にした机の席の真ん中で区切り、「賛成派」と「反対派」の役に分け、「賛成派」役の人は賛成意見（メリット）を、「反対派」役の人は反対意見（デメリット）を出します。出し合ったところで、「賛成派」と「反対派」の役を交代します。逆の立場に身を置くことで、さっきまでと違った新しい視点が見えてきます。

今度は、一歩すすんで、お互いの意見（メリット・デメリット）を覆す根拠となる意見を言います。こうすることで、課題に対する利点や改善点がよりクリアになってきました。



先ほどまで、良くない点だと思っていたことが良い点だったり、逆もしかりで、別の角度から捉えることで新しい発見があったりと多くのことに気づいていきます。

ある程度意見が出揃ったところで、ファシリテーター役の講師が共通する意見をまとめていきます。



### ディスカッション（意見交換）のテクニック

- ①意見を出し合い、内容ごとに分け整理し、可視化する
- ②相対する意見のメリット、デメリットが明確にする
- ③意見の共通項を膨らせる
- ④少数意見も切り捨てず、反映できることを探す
- ⑤相互理解のために、立場を入れ替えて議論する

ホワイトボードなどに、「賛派」・「反対」別に意見を記入。  
分けて記入することで、どんな意見が多いか傾向もわかりやすい。

#### ●意見が出せない人には…

意見交換を行う前に共通の話題で世間話をするなどの話やすい雰囲気づくりをする。

#### ●内容が理解できない人には…

後日、内容をわかりやすく説明するなどのアフターフォローをする。

#### ●集まりに参加できない、しない人には…

活動内容がわかるようにまちづくりニュースなどを配布したり、掲示板を利用する。

また、直接会って説明すると意見を聞ける場合がある。



同じ意見に頷いたり、違った意見に耳を傾ける受講生のみなさん。  
一つの課題に対して、自分の意見を言うことだけでなく、いろいろな価値観や状況があることを想定しながら合意を探っていく。

今回は、次のテーマで想定しディスカッションしました。

### ●まちに街路樹を植えるという提案について（公共空間のルールづくり）

#### <メリット>

景観がよい、夏に日陰をつくる、地球環境のため、小鳥や虫がいて楽しい等

#### <デメリット>

落ち葉が汚い、落ち葉で足を滑らせてけがをする、鳥のたまり場、掃除が大変等

#### <共通して工夫できる場所>

樹種を考える、落ち葉を肥料としてリサイクル、  
掃除は有償やポイント制にして町内会や子供会の活性化につなげる

### ●まちの堀を生垣にするという提案について（私有財産へのルールづくり）

#### <メリット>

目に優しい、まちが統一され泥棒よけになる、心が安らぐ、樹木の勉強になる等

#### <デメリット>

メンテナンスの負担、好きな木を植えたい、自由が奪われる、毛虫がでる等

#### <共通して工夫できる場所>

みんなが好きな木を植える  
花が咲いたり実がなったりしてそれを話題にコミュニケーションをはかるようになる

### ●自治会やまちづくり団体活動などへの参加について（地域活動参加へのルールづくり）

#### <メリット>

住みやすくなる、知り合いが増える、情報が入る、絆ができる、防災に役立つ等

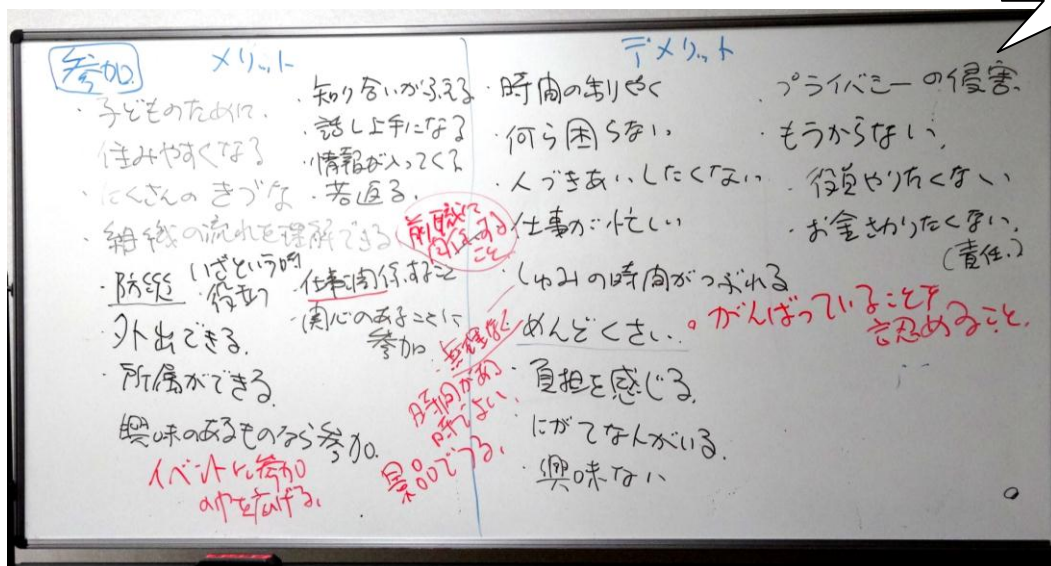
#### <デメリット>

時間的制約、責任などの負担を感じる、面倒くさい、人付き合いしたくない等

#### <共通して工夫できる場所>

自分の得意なことをする、無理なく時間のある時に参加する仕組みをつくる、  
興味のあるものに参加するようにする、頑張っていることを認めることでやる気を出せる

ディスカッションで  
各意見を書き込んだ  
ホワイトボード



たくさんの意見が出揃い、ファシリテーター役の講師がそれを集約し、分析することで、  
まとまります。そこから共通の思いが見えてきました。

「意見を言い合うこと（コミュニケーション）」の大切さがわかりました。

## おわりに・・・

最後に、講座を通して受講生からの質問について、講師の川本さんにお答えいただきました。多くのまちづくりに携わり、経験が豊富な川本さんならではの知識や活動する上での人間関係の活かし方など、今後の活動の参考となるお話をさせていただきました。

質問に答える講師の川本さん。

まちづくりのために役立つ法令の説明や、実際にまちづくりに関わられた経験からくるアドバイスなども！



四時間あまりの講座でしたが、受講生の皆さんと講師である川本さんのまちづくりへの熱意が伝わる講座となりました。

この講座で学んだことを皆さんのまちづくり活動に活かしていただけることを期待しています。



### \*まとめ\*

- まちづくりは一人でもできるが、仲間をつくり、協力し合うことで幅広い活動を行うことができる。
- 活動を継続するためには、実現可能な活動を行い、無理をしない。
- お互いの信頼感がないと合意形成は難しくなる。日頃から挨拶や声掛けなどコミュニケーションをとり、共通の話題で世間話をするなどお互いに話しやすい雰囲気をつくる。
- 意見交換をする時は、お互いの意見を最後まで聴き、批判しないこと。
- 自己主張ばかりするのではなく、お互いに譲り合う心のゆとりや、相手を思いやる気持ちが大切。
- 協調性を持ち、根気よく誠実に取り組む姿勢がお互いの信頼につながる。